

令和元年度 第4回 宮崎市子ども・子育て会議  
教育・保育推進部会 議事録

令和2年1月21日(火) 13:30~14:30  
宮崎市民プラザ 4階 ギャラリー(1)



次 第

1 あいさつ

2 議 事

(1) 「量の見込み」の見直しについて

(2) 「第二期宮崎市子ども・子育て支援プラン」素案について

3 その他

(1) 今後の予定について

4 閉会

## 1 あいさつ

あいさつ（谷川局長）

## 2 議 事

### (1) 「量の見込み」の見直しについて

資料1により説明（事務局説明）

前回部会でご審議いただいた「量の見込み」について、1号認定及び2号認定児童の合計が、人口推計の3～5歳の値を超過していること等の理由から見直しが必要となった。修正案として、令和4年度まで、2・3号認定は就労移行率が変化率2%で推移し、1号認定は変化率-2%で推移し、令和5年度以降の就労移行率は変化率0%で推移する案を提案したい。

（補足）第二期プランでも、中間年で見直す予定となっており、その際量の見込みについても、再度推計を行うこととなる。また、3～5歳児については認可外施設や障がい者施設等を利用している場合もあり、その児童を合わせるとほぼ100%に近い児童が何らかの施設を利用していると考えられる。

部 会 長 事務局案のとおり承認してよろしいか。

各 委 員 異議無し

### (2) 「第二期宮崎市子ども・子育て支援プラン」素案について

資料2及び資料3により説明（事務局説明）

第二期プランの策定にあたり、「教育・保育提供区域」の見直しや企業主導型保育事業の確保方策追加、認定こども園の認可・認定方針、幼児教育・保育の無償化、児童手当の概要等を新たに記載する案を作成した。

また、量の見込みに対する確保方策については、第二期プランでは、新規認可より既存施設の定員見直しに重きをおいて、教育・保育体制を確保する案とした。

（補足）確保方策については、令和2年度当初は既に認可や定員変更等の数の見通しが立っており、定員が不足することが予想されるが、実際は定員弾力運用等により市全体でみると、令和2年度当初の定員は充足すると考えている。

部 会 長 事務局案のとおり承認してよろしいか。

各 委 員 異議無し

### 3 その他

#### (1) 今後の予定について（事務局説明）

委 員 保育士の不足が課題となっているなか、福岡では自治体の単独事業で補助等を行ったり、大分市ではセミナーを実施、延岡市では保育士養成校の立上げが検討されるなど保育士確保へ向けた取組みがなされている。本会議でも、そうした保育士確保へ向けた議論を行うことも必要であると考えている。

事 務 局 委員の皆様からのご意見をいただきながら、これから保育士なる方々のニーズや、有資格者で保育に従事していない方がどうすれば保育士として復帰していただけるかといったことを考えていきたい。今回は、次期プラン策定に主眼をおいた会議だったが、策定が終われば、そのような協議の場を持たせていただければと考えている。

部 会 長 保育士の処遇改善は少しずつ進んでいるが、全体として保育ニーズに対する受け皿確保は、まだまだ不十分な状況である。保育士確保も含め今後とも議論を行っていかなければならない。

### 4 閉 会